

2013 年度

国際学研究科修士論文

中国人学生の就職をめぐる環境変容と支援政策の研究

Study of environmental transition and support policy
for Chinese students' employment

宇都宮大学大学院国際学研究科

国際社会研究専攻

124104K

包金

要旨

「就職」って何ですか?皆さん大学を卒業したら就職したいですか?就職したらどんな仕事をやりたいですか?などのたくさん問題は在学の大学生や既に卒業した学生たちに直面している問題である。このことに対して国からどんな政策を執行しているか、今の困っている大学生たちにどんないい道を教えるか、どうやって社会プレッシャーを軽減するなどのいろいろなことが人々に注目されるようになっている。経済社会のグローバル化の進展や技術的な人材を求めている社会で大学生たちは企業、雇用システム、就職活動のやり方などを理解しながら自らの職業生活を図っていく必要がある。

今の社会は学歴だけがある大学生を求めているのではなくて、学歴と技術を兼備した人をほしがっている。さらに、発展途上の中国で年々に増加している大学生の状況で就職困難の発生は当たり前のことである。日増しに顕在化している就職困難の前で大学生はどうすればいいのか?就職矛盾をどう解決すればいいのか?就職してから択業するのか?アルバイトをして生活を営むのか?人間関係を託して就職するのか?卒業するとすぐ失業行列に入るなど一連のことが連続している。

本研究では大学生の就職問題をめぐり、行政制度や政策との関連で解決策を打ち出し、就職支援制度を確立する必要性を述べると同時に、先進国の代表的な就職支援システムを提示し、雇用情勢の中で、政策提言面で力になりたいと考えられる視点から就職現状や特質点でアンケートとインタビューしながら就職展望についての意見や対策を提言した。具体的な内容は以下である。

本論文は序章、主な内容(第一章 第二章 第三章 第四章)、終わりに、参考文献から構成した。序章で研究背景と問題意識、研究目的、研究方法と予定、先行研究と本研究の位置づけを書いた。

第一章で、大学生就職政策の変化と国外大学生就職政策を考察した。第一節で中国にとって改革発展の安定や目的、人民利益、高等教育の持続発展に直接の関係がある大学生の就職問題について、中国の大学生就職政策の歴史的な進展変化を分析しながら変化要因を探して、中国の大学生就職政策の理解を深めるという視点で大学生就職政策の変化過程と変化原因の二つの内容を説明した。第二節で国外の先進国の代表としてアメリカとドイツの就職政策を述べて、主に日本の就職現状や政策などを詳しく検討した。

第二章で、大学生の就職の現状把握と就職困難の原因を分析した。第一節で人口が多い、学生募集枠を拡大、地域経済発展の相違、教学資源や質量など、一連の影響より今の学生たちの間で「卒業即失業」の悲観的な状態を中国における大学生就職状況と在日中国大学生の就職状況から分析した。第二節で就職困難の原因を社会原因、経済原因、教育原因、意識原因から明らかにした。

第三章で、大学生就職状況をめぐるアンケート・インタビュー調査をした。第一節で大学生就職傾向を月給の期待、就職地域的期待、就職先の期待、業種的期待点で説明し、第二

節で K 大学の学生に事例として調査した。

第四章で、企業、雇用システム、就職活動のやり方などのことを理解しながら自らの職業生活を図っていく必要がある学生たちの就職政策展望の観点から就職を促進するにあたって、必要と考えられることを政策の提言、企業の役割、学校教育の在り方、学生個人のあり方などの側面から明確にした。

最後に本論文の全面的な内容を総括して、就職政策をめぐる研究に通じて了解した成果を明らかにした。